

たがじょう

TAGAJO CITY

市議会だより

令和8年(2026年)
2月1日発行

No. 134

八幡小学校

令和7年第4回定例会結果	2
一般質問	4
あんなことこんなこと議論の足跡	10
常任委員会視察調査	14



△八幡小学校まつば児童会の皆さん

第4回定例会（12月8日～12月22日開催）結果

今定例会では、条例14件、工事1件、補正予算12件、その他4件の31件の議案審議を行いました。

市長が提出した議案

	多賀城市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例について
1	文化財の保護に関する事務を教育委員会から市長部局に移管するため、多賀城市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例を制定するもの。
2	多賀城市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について 多賀城市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の施行に伴い、関係条例5件について改正を行うもの。
3	多賀城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について 公正で安定的な国民健康保険事業の運営を目的として、国民健康保険税率を改正するため、多賀城市国民健康保険税条例の一部を改正するもの。
4	指定管理者の指定について（多賀城市鶴ヶ谷児童館、西部児童センター及び放課後児童クラブ） 多賀城市鶴ヶ谷児童館、西部児童センターおよび放課後児童クラブの指定管理期間が令和7年度末をもって満了することに伴い、令和8年度から令和12年度まで新たにシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社を指定管理者として指定を行うもの。
5	指定管理者の指定について（多賀城市文化センター） 多賀城市文化センターの指定管理期間が令和7年度末をもって満了することに伴い、令和8年度から令和17年度まで引き続きJM共同事業体を指定管理者として指定を行うもの。
6	多賀城市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に創設された準法定事務および住民情報システムの標準化に伴い実装する住登外者宛名番号管理機能への対応のため、多賀城市個人番号の利用および特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正するもの。
7	多賀城市印鑑条例の一部を改正する等の条例について 印鑑登録システムの標準準拠システムへの移行に伴い、印鑑登録証をマイナンバーカードに統合する処理を廃止するため、多賀城市印鑑条例の一部を改正および多賀城市個人番号カードの利用に関する条例を廃止するもの。
8	多賀城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について 「児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う子ども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する内閣府令」が施行されたことに伴い、多賀城市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例他2件について改正を行うもの。
9	多賀城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 児童福祉施設の設備および運営に関する基準等の一部を改正する内閣府令が施行されたことに伴い、多賀城市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例の一部を改正するもの。
10	多賀城市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について 保育所等に通っていない0歳6か月から満3歳未満までの乳幼児について、就労要件等を問わずに保育所等を利用することができる乳児等通園支援事業を開始するため、同事業の認可基準として、多賀城市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例を制定するもの。
11	多賀城市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について 乳児等通園支援事業の給付費の支給に係る市の確認基準として、多賀城市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を制定するもの。
12	多賀城市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について 公示送達について、インターネットを利用する方法により閲覧することができる状態に置く措置等を可能とするため、多賀城市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正するもの。
13	指定管理者の指定について（多賀城市社会体育施設等） 多賀城市社会体育施設等の指定管理期間が令和7年度末をもって満了することに伴い、令和8年度から令和12年度まで引き続き特定非営利活動法人多賀城市民スポーツクラブを指定管理者として指定を行うもの。
14	宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議について 宮城県市町村職員退職手当組合において、当該組合議会議員等に対して議員報酬等を支給することに伴い、組合規約を変更することについて、議会の議決を求めるもの。
15	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について 令和7年人事院勧告を踏まえ、一般職の国家公務員に準拠し、本市の一般職の職員および任期付職員の給料月額および期末勤勉手当支給割合など各種給与制度を改定する条例改正を行うもの。
16	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について
17	教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について
18	議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について 特別職の職員の給与に関する法律の改正を踏まえ、特別職の国家公務員に準拠し、特別職の期末手当支給割合を改定する条例改正を行うもの。
19	工事請負契約の締結について（令和7年度多賀城市八幡保育所大規模改修工事） 令和7年度多賀城市八幡保育所大規模改修工事につき、工事請負契約を締結することについて、議決を求めるもの。
20	令和7年度多賀城市一般会計補正予算（第4号） 歳出は、市庁舎耐震対策等事業の減額補正および地域総合整備資金貸付事業の増額補正を行うもの。歳入は、緊急防災減災事業債の減額および地域総合整備資金貸付事業債の増額補正を行うもの。
21	令和7年度多賀城市一般会計補正予算（第5号） 歳出は、令和7年人事院勧告に伴う職員の給与等の人件費の増額補正および物価高騰対策給付金給付事業の追加補正を行うもの。歳入は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額補正を行うもの。

22 25	令和7年度多賀城市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
	令和7年度多賀城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
	令和7年度多賀城市水道事業会計補正予算(第1号)
	令和7年度多賀城市下水道事業会計補正予算(第2号)
	令和8年度当初から行う各種委託業務等について本年度中に契約などの事務処理を行う必要があるものに係る債務負担行為の追加を行うもの。
26	令和7年度多賀城市介護保険特別会計補正予算(第2号)
	歳出は、施設介護サービス等給付事業の増額補正。歳入は、介護給付費交付金の増額補正を行うもの。
27	令和7年度多賀城市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
	歳出は、令和7年人事院勧告に伴う人件費の増額補正を行うもの。歳入は、人件費の増額に伴う一般会計繰入金の増額補正を行うもの。
28	令和7年度多賀城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
	歳出は、令和7年人事院勧告に伴う人件費の増額補正を行うもの。歳入は、一般会計事務費繰入金の増額補正を行うもの。
29	令和7年度多賀城市介護保険特別会計補正予算(第3号)
	歳出は、令和7年人事院勧告に伴う人件費の増額補正を行うもの。歳入は、一般会計繰入金の増額補正を行うもの。
30	令和7年度多賀城市水道事業会計補正予算(第2号)
	収益的支出は、職員人件費の増額補正を行うもの。収益的収入は、他会計負担金の増額補正。資本的支出は、職員人件費の減額補正を行うもの。
31	令和7年度多賀城市下水道事業会計補正予算(第3号)
	収益的支出は、職員人件費の増額補正を行うもの。収益的収入は、雨水処理負担金及び他会計補助金の減額補正を行うもの。資本的支出は、職員人件費の減額補正を行うもの。資本的収入は、他会計出資金の増額補正を行うもの。

委員会付託・審査結果 〔1・2・6・7〕…総務産業常任委員会(可決) 〔3・4・5・8・9・10・11・12・13〕…文教厚生常任委員会(可決)
〔20・22・23・24・25・26〕…予算特別委員会(可決)

第4回定例会 表決一覧

各議員が出した結論は

審議案件の番号	自由民主党							日本共産党			公明党			未来	多	市	新	米澤まき子	審議結果
	大内裕太	大場和晃	本間圭	千葉文昭	佐藤雅博	森長一郎	鈴木新津男	峪道子	伊藤真弓	中田定行	阿部正幸	齋藤裕子	根本朝栄	池田純	板橋恵一	昌浦泰巳	竹谷英昭		
議案1～5	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	※	原案可決
6～19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決
20.21	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○		原案可決
22～31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決

表示の説明 賛成は「○」 反対は「×」

※ 米澤議長は公正中立の立場から表決に加わらず、無会派になります。

会派名 自由民主党＝自由民主党多賀城市議団 日本共産党＝日本共産党多賀城市議団

公明党＝公明党多賀城市議団 未来＝多賀城の未来を照らす会 多＝多賀城市民の会 市＝市民クラブ 新＝新世紀クラブ

◎請願

なし

◎陳情

- 地域を支える中小・小規模事業者支援を重点とする経済対策の早期実施に関する要望書
- 学校教材備品の計画的な整備推進についてお願い
- 全国一律最低賃金の創設と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情
- 国に国民の主食である米の価格統制をすることを求める意見書の提出に関する陳情
- 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情
- 令和8年度税制改正に関する陳情

一般質問



公明党

齋藤 裕子 議員

- ① 誰もが安心して「搾乳」ができる環境づくりについて
- ② AED（自動体外式除細動器）の普及と効果的な設置活用策について
- ③ 救急車の適正な利用について

問1 搾乳マークを活用して授乳室でも搾乳を可能とする旨の環境整備や理解促進をする考えは。

答1 市では、授乳室で搾乳利用がしづらい声を踏まえ、ホームページ等での周知や搾乳への理解促進の取り組みに努め、案内表示や搾乳マークの活用を検討する。

問2 ① 公共施設のAEDの設置状況と屋外への設置について。② 町内会の集会所等におけるAEDの設置と補助の考えは。③ AEDボックスに身体を配慮する三角巾と使用説明書の配備は。

答2 ① 市が管理している47施設のうち40施設に設置している。屋外に設置している施設はない。② 町内会集会所等は、町内会が自主的に管理運営しているため、市で設置状況は把握していない。補助については、市の補助制度はないが、活用できる助成事業があり、毎年周知している。③ 市

管理の47施設のうち9施設に配備しており、身体的プライバシーを配慮する取り組みを実施している。

問3 平成28年第4回定例会提案の「ジュニア救命士」講習会の開催は。

答3 小学校では学習指導要領に含まれていないため、授業として実施していないが、中学校では保健体育の授業で実技含め指導している。

さくにゅう
搾乳できます



▶ 出典：神奈川県ホームページより

※他に全国版救急受診アプリ「Q助」の活用や救急車の適正利用の取り組みについて質問。



日本共産党

中田 定行 議員

- 会計年度任用職員の雇用安定と処遇改善について

問1 給与改定の4月遡及、期末・勤勉手当支給率の正職員準拠は。

答1 給与改定の4月遡及、期末・勤勉手当支給率について、既に常勤正職員と同様の取り扱いとしている。

問2 特別休暇は正職員と同様の有給化が必要、その実態は。病気休暇の有給化、両立支援に係る休暇の任期の限度廃止は。子どもの看護休暇の有給化はどうか。

答2 令和7年4月1日から私傷病休暇の有給化、両立支援に関わる子の看護休暇、短期介護休暇の任期限定廃止を行った。子どもの看護休暇の有給化は、国の法改正に合わせ、適切な対応を行う。

問3 再度の任用について任用の上限撤廃は怎么样了か。

答3 総務省の事務処理マニュアルに基づき、会計年度任用職員の同一所属・同一職種での任用限度年数を原則6会計年度とするルールを設けた。

問4 報酬の水準等の決定について。

「給与又は報酬の決定に当たっては、常勤職員と同様に、『職務経験等の要素を考慮して』とは、学歴や経験年数を考慮すべきもの、『必ずしも上限を設ける必要はない』とのマニュアル改正をどのようにしていくつもりか。

答4 本市会計年度任用職員は、正職員の事務補佐員として雇用しており、総務省通知を踏まえ、報酬の水準に一定の上限を設けている。





多賀城の未来を照らす会

池田 純 議員

- ① 災害対応について
② 教育課題について

問1 ① 令和7年10月1日の被害状況について。② 指定避難所である城南小学校が内水、洪水時の浸水想定区域となっている。近隣の東北歴史博物館を一時避難場所として指定すべきでは。③ 町内会等と連携した指定避難所の鍵の管理と開錠について。

答1 ① 住家被害は半壊8棟、準半壊3棟、一部損壊36棟、計47棟。非住家被害は半壊16棟、準半壊10棟、一部損壊2棟、計28棟。動産被害は、車両57件等で計92件。② 令和5年に施設に相談した際に、敷地の一部が浸水区域で施設提供は難しいと話があり、同意を得られていない。③ 安全確認や事故のリスク、鍵の管理方法等を整理する必要があり、避難所の開設は職員が行うことを基本として考えている。

問2 ① 市内の不登校児童生徒の健康診断受診状況と対応状況について。② 今年度から特別

支援教育支援員の勤務体制が変更となったが、次年度以降の任用計画について。

答2 ① 受診できない児童生徒会との連携を図り、健康診断を受診できるような体制整備などを検討していく。② 今年度同様の勤務体制を継続するが、特に支援の必要性が高い児童生徒へ優先的に支援員を配置するなど、柔軟かつ重点的な対応を図っていく。



▲ 10月1日大雨時の浮島の被害状況

※他に物価高騰対策について質問。



市民クラブ

昌浦 泰已 議員

- ① 若年女性政策について
② 小中学校の校旗について

問1 ① 市長は日本創成会議の試算、特に消滅可能性都市論などに関して、どのように考えるか。2040年の本市の人口は5万3,601人という試算に対してはどう考えるか。② 本市として若年女性定住に関する政策は持ちか。③ 塩釜地区二市三町が連携して、若い女性達が正社員として長く働き続けられる企業誘致などに取り組む考えはあるか。

答1 ① 消滅可能性都市論は大きなインパクトを与え、国をあげて人口減少対策に取り組んでおり、意義は大きかったと感じる。国立社会保障・人口問題研究所による2040年の本市人口推計は5万6,680人とされ、日本創成会議での試算より減少幅は緩やかだが、人口減少は進み続けていると認識している。② 移住定住助成や創業支援、行政サービス充実により、若年女性を含む多くの方が住み続けたいと思えるまちづくりに取り組んでいる。③ 現在

は、取り組みを進める予定はない。

問2 多賀城八幡小学校の校旗（外用）が色あせてぼろぼろである。一度調査して、各小中学校で多賀城八幡小学校と同様であれば新品に交換してはどうか。

答2 各校の校旗を確認したところ、多賀城八幡小学校は、屋外用の校旗が色あせ、傷んでいた。学校と協議し適切に対応する。



▲ 多賀城八幡小学校

一般質問



自由民主党

大内 裕太 議員

- ① 市公式LINEの活用
- ② 宮城オルレ多賀城コースの維持管理体制
- ③ 職員力のさらなる向上

問1 ①セグメント配信を活用してはいかがか。②市民意識調査等を積極的に実施してはどうかか。

答1 ①効果的な情報発信を実現するために研究する。②潜在的な声を集めるために重要なことだと認識しており、現在も活用しているが、より一層の活用について研究する。

問2 ①維持管理の基本的な考え方②団体や個人等に登録いただき、「仮称」多賀城オルレサポーターズクラブ」を創設してはいかがか。

答2 ①所管部署が管理することとなり、連携をとり、維持管理していく。②「多賀城みらい創造クルー」を活用し、市民の皆さんに愛される道を育んでいく。



▲多賀城市公式LINE

問3 ①民間事業者との人事交流制度の導入②友好都市及び自治体間の人事交流の導入をしてはどうか。

答3 ①地域社会全体の発展につながることから、先進事例や他団体の状況などを研究する。②限られた人的資源による更なる市民サービスの向上のために「職員力のさらなる向上」に対する手段の一つとして、引き続き取り組む。



日本共産党

山岡 道子 議員

- ① ひきこもり支援について
- ② 民間賃貸住宅家賃助成について
- ③ 物価高騰対策について

問1 岡山県総社市では「ひきこもりは当事者やその家族が悪いのではなく、社会が悪い。行政が全力で支援していくべき」との総社市長の思いから、積極的な行政支援が行われている。①市長のひきこもり支援への思いとは。②市で支援センター、常設の居場所、家族会等の設置を。

答1 ①支援が必要な方それぞれに困りごとや支援方法が異なるものと理解しており、実情に応じて寄り添った支援をしたい。②宮城県が設置し、支援を行うひきこもり地域支援センターを紹介しており、本市での開設は考えていない。

問2 東京都杉並区、埼玉県蕨市の民間賃貸住宅の家賃補助が必要と考えるがどうか。

答2 自立相談支援窓口をはじめ、めととする各相談窓口でそれぞれの生活状況を聴き取り、適切な支援のつなぎを行っているため、

まずは相談いただきたい。

問3 国の重点支援交付金等を活用し、福祉灯油、地域商品券の発行、水道料金の減免等を重点施策として実施を。

答3 現時点で国から交付金額が示されていないため、本市で実施する具体的な物価高騰対策の内容は決まっていないが、実施する上では、できるだけ速やかに手元に届かせることを重点に置いて検討していく。



▲岡山県総社市の取り組みとひきこもりサポーター養成テキスト



自由民主党

千葉 文昭 議員

- ① 避難所の災害対策用物資の確保について
- ② 熊対策について
- ③ 宮城オルレ多賀城コースの活用について

問1

市は備蓄品を購入する一方で民間事業者と物資等の早期調達に関わる協定を締結している。大規模災害でも早期調達が期待できるのであれば、品目によっては、全量を備蓄しなくても一部は協定に基づき調達するやり方もあると思うが、市の考えを伺う。

答1

本市は震災の教訓を踏まえ、食料3日分や生活用品を備蓄し、さらに民間事業者と物資支援協定を締結。物資の調達を迅速に行えるよう体制を整え、発電機や仮設トイレなど資機材も協定に基づき調達する。

問2

全国で熊が住宅地・市街地にも出没している。本市に出没する可能性は低いものの無視はできないと思うが、熊対策について市の考えを伺う。

答2

国や県の対策事業を活用し、猟友会、警察署、近隣自治体と連携し統一マニュアルを

作成し、体制強化に努める。

問3

オルレ多賀城コースは、文化観光振興や市民の健康増進等様々な効果があるものと期待しているが、オルレコースの活用について市の考えを伺う。

答3

本市の文化観光資源や価値を多くの方に知ってもらうため、健康増進や環境教育などを実施に向け、検討中である。また、旅行会社へプロモーションを行い、ツアー造成、他自治体と連携したイベント開催も予定している。



▲宮城オルレ多賀城コースの様子



自由民主党

大場 和晃 議員

- ① スポーツウエルネス施設内に子どもの屋内運動施設・居場所となり得る施設を設置することについて
- ② ニーズに合わせた運動機会の創出について

問1

① 子どもの遊び場・居場所機能を新たな体育施設に設置することを特に重視して検討することになった経緯は。② どのような機能をイメージし検討を進めているのか。

答1

① 子どもたちの安全な遊び場、居場所の確保が課題であり、アンケート調査においても、全天候型の屋内遊び場などを求める声が多くあった。② 今後策定する基本計画の中で整理していく。体育施設と複合化するメリットを最大限に活かしたものとすよう検討を深めていく。

問2

① 運動を習慣化、もしくは運動のきっかけとなるような取り組みについて伺う。② 団体競技を中心に中学校の運動部活動が縮小し、希望する部活動がない学校もある。部活動の地域展開は希望する運動を続ける、または始めるチャンスと捉えることもできるが、そういった運動機会の存

問1

続、または新たな運動機会の創出についてどのように考え取り組んでいくか。

答2

① スポーツウエルネス施設の整備のほか、新たな競技を取り入れた社会体育事業の実施などを進めている。② 中学生が参加できる地域団体をまとめた「居場所一覧」を整備し、学びを深めるきっかけ、新たな運動機会の創出を図っていく。



▲市内で実施したどろんこラグビー

一般質問



自由民主党

本間 圭 議員

- 1 特別教室へのエアコン整備について
- 2 児童の成長につながる体験的学習の展開について

問1 学校は日常の学びの場であると同時に、災害時には地域住民の命を守る避難場所となる重要な施設である。猛暑時には、エアコン未整備の特別教室等を使用せざるを得ない課題がある。子どもを真ん中においた教育活動と市民の安心を守るため、防災・減災の視点も踏まえ、理科室など特別教室へのエアコン整備を計画的に進める必要性について市の考えを伺う。

答1 児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、教育環境の整備と運営に努めており、エアコンの設置は重要な課題の一つと捉えている。有事の際には、学校運営と避難所運営を同時に進めるためにも、特別教室へのエアコン整備は必要であると考えている。

問2 多賀城跡ガイダンス施設や宮城オルレ多賀城コースを活用し、地域を歩き、歴史や自然を体感する学びを学校教育に生



▲宮城オルレ多賀城コースの様子

答2 令和5年度から歴史学習の一環で「多賀城学」を実施。令和7年度からは歴史に加え、建造物や自然などを含め「多賀城学」を再定義した。ガイダンス施設や太宰府市交流、宮城オルレ体験も取り入れ、教育効果を高めていく。

かすことで、郷土への理解を深め、自分のまちを語れる力と心身の健やかな成長につながる体験的学習の展開について市の見解を伺う。



日本共産党

伊藤 真弓 議員

- 1 教員の長時間労働の解消について
- 2 高齢者の難聴者の補聴器購入助成制度の実施について
- 3 災害から街を守るための雨水対策について

問1 ①登下校時の見守りや就学時健康診断は、学校以外が担う業務に。②今年度減らした特別支援教育支援員の増員を。③教員業務支援員を活用し教員の負担軽減を。④医療的ケア児支援充実のため看護師資格を有する特別支援教育支援員の配置を求める。

答1 ①登下校時見守りは教員の関わりで質の高い安全対策につなげていく。就学時健康診断は入学前の不安軽減や学校とつながりを持つ重要な機会。学校で実施を継続し、負担軽減に努める。②適切な人員配置を図り、体制充実を行う。③地域や保護者の協力を得て、教職員の勤務時間適正化と児童生徒の教育条件確保に努める。④医師指導のもと、必要なケアを受けながら学校生活を送れる体制としている。

問2 ①高齢者の中等度難聴者へ補聴器購入助成の実施を。②住民健診で高齢者の聴力検査の実施を。

答2 ①宮城県市長会で国と県に財政措置を要望した。国



▲10月1日大雨時の市立図書館前高架下の様子

問3 ①10月1日の大雨被害にあった市立図書館の雨水対策について。②今後の地球温暖化による異常気象に備えて、従来の雨水計画を見直すことを求める。

答3 ①設計事務所や施工業者と連携し再発防止の対策を研究している。②整備基準や排水規制を超える計画は現実的でなく見直しはできない。



公明党

阿部 正幸 議員

●物価高騰対策について

問 ①「プレミアム付き商品券」「プレミアム付きデジタル商品券」について。②「現金給付」「みやぎポイント」等について。③光熱費の負担軽減対策について。

答 ①現時点で国から交付金額が示されていないため、本市で実施する具体的な物価高騰対策の内容は決まっていないが、「商品券」の発行に関して相当の効果は見込まれる事業ではあるものの、実施に多額の事務費が掛かってしまう。②現金支給については、事務費が商品券よりも抑えられるというメリットがあり、電子クーポンについては、宮城県で運用しているデジタル身分証アプリ「ポケットサイン」のアプリの1つである「みやぎポイント」によるポイント給付は、今回の物価高騰対策において宮城県が県下の市町村に推奨しているところであ

り、前向きに検討する。③燃料・光熱費の負担軽減については、令和8年1月から国により電気・ガス代の支援による負担軽減策が予定されていることから、本市では補助を実施する予定はない。いずれにしても、限られた財源の中で最も効果的な事業を検討し、市民および市内事業者に対する物価高騰による負担を軽減する取り組みを早急に実施していく。



▶宮城県公式デジタル地域ポイント「みやぎポイント」HPより

市議会に おける 活動状況のお知らせ

○10月

(令和7年10月～12月)

- ・ 1日 議会運営委員会、広報特別委員会
- ・ 3日 議会運営委員会
- ・ 6日 多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会
- ・ 7日 広報特別委員会
- ・ 10日 議会ICT推進検討委員会、広報特別委員会
- ・ 15日 広報特別委員会
- ・ 21日 議会運営委員会
- ・ 27日 多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会

○11月

- ・ 10日 第1回市議会臨時会、全員協議会
- ・ 11日 全員協議会
- ・ 21日 全員協議会、議会運営委員会
- ・ 27日 多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会

○12月

- ・ 1日 広報特別委員会
- ・ 4日 多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会
- ・ 8日 広報特別委員会
- ・ 8日～22日 第4回市議会定例会
- ・ 9日 議会運営委員会
- ・ 16日 多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会
- ・ 18日 議会運営委員会、広報特別委員会
- ・ 22日 多賀城市議会ハラスメント防止条例等策定委員会
- ・ 議会運営委員会

令和8年第1回定例会開催のお知らせ

次回の定例会は、
2月3日から
開催の予定です。

- 正式な日程は、決まり次第、広報多賀城・市ホームページでお知らせします。
- 定例会本会議、予算・決算特別委員会、常任委員会（定例会会期中の開催）は、You Tube でもご覧いただけます。
- 市議会会議録は、市ホームページでもご覧いただけます。

スマートフォンで
議会中継をご覧に
なりたい方のアク
セスはこちらから



市議会では、市長の提出案件が市民の生活へどのように寄与するのか、一つ一つ質疑を通して審議を深め、採決に臨みます。

第4回定例会では、常任委員会および予算特別委員会において、市当局との間で主に次のような質疑応答が行われました。

●総務産業常任委員会

多賀城市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例等について（文化財課の移管）

質 文化財課に係るすべての業務を教育委員会から市長部局へ移管するのはなぜか。

答 文化財課では普及、啓発活動はしていたが、観光コンテンツまでは結びついていないため、多賀城市外の方に来ていただき、消費活動、経済活動につなげていきたい。そうすることで文化財保護などの好循環を作り上げ、持続可能な地域歴史を守っていくことにもつながると考えている。

質 教育委員会から市長部局へ移管されると具体的に何が変わるか。

答 例えば、特別史跡内で事業を実施する場合、特別史跡内は規制が厳しいが、できること、できないことの判断がスピーディーになる。

質 今回の移管手続きについて問題はありますか。

答 事務手続き、法的、体制整備的にも問題はない。今回の移管は教育委員会だけでなく、市長部局を含め多賀城市全体で進めていく。

質 教育委員会から市長部局へ移管している自治体は。

答 代表的な自治体だと、山形県酒田市や奈良県斑鳩町である。

質 移管している自治体の課題は。

答 普及・啓発以上にプロモーションを総合的に行う人材の育成と聞いている。

質 政庁復元構想を所管しているのは県の観光戦略課だが、市と県の連携は。

答 県との検討委員会は本市から教育委員会と市長部局が出席している。県も文化財課と観光戦略課が出席しており、両者文化財部門と観光部門のため、連携が取りやすくなる。

質 国宝指定の多賀城碑、復元された南門、ガイダンス施設を活用するだけにとどまらず、その特性を活かして地域振興を一体的に行うことはどのようなことなのか。

答 これまで教育委員会では文化財の調査、保護、研究をしてきた。その成果は観光に活かせる大きな強みである。多賀城でしか感じられない歴史を観光振興につなげていきたいと考えている。



▲多賀城政庁跡

●文教厚生常任委員会

多賀城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

質 財政調整基金（貯金）の残高はどのようになっているか。

答 平成22年度に基金が減少し税率を改正した。東日本大震災により国からの交付金が多く配分され、基金は徐々に増加し約10億円となったが、令和4年度から基金の取り崩しが増えてきた。

質 被保険者数の減少による税收の減などの要因で、安定的な財政運営が困難となってきたため、保険税率の引き上げを行うものと理解してよいのか。

答 その通りである。

指定管理者の指定について
（多賀城市文化センター）

質 指定管理期間が前回の5年間で10年間に伸びた理由は。

答 「スタッフの人材確保」、「自主事業の計画を長期的に立案し、安定した運営につながる」、「更なる民間力を発揮し、多賀城市の魅力を最大限に発信できること」を期待した。一方で、サービス等の質を確保するために、チェック体制

をより強化し、運営を注視していく。

質 指定管理期間が10年間となったことで事業者から新たな提案はあるか。

答 リピーター促進策や文化と観光が連携した交流人口の拡大等の提案があった。

質 文化センター内に指定管理者と市職員がいるが、災害時の連携対応等について。

答 日頃より、現場の職員で連絡を密にしており、問題はない。



▲多賀城市文化センター

指定管理者の指定について
（多賀城市鶴ヶ谷児童館、西部児童センター及び放課後児童クラブ）

質 指定管理者が変わるが、今年度の職員が来年度も勤務できるように対応について。

答 現在働いている職員の待遇等の意向なども踏まえ、新しい指定管理者が職員の継続雇用に全力

を尽くすようお願いしていく。

質 学校の長期休業時の放課後児童クラブでの昼食提供について。

答 地元の弁当業者と優先的に交渉し、早ければ令和8年度の夏休みから弁当を安定的に提供できる体制を整え、保護者負担軽減を図ることが提案されている。

質 施設の老朽化対策について。

答 現在、緊急的な修繕が必要な場合は、その都度修繕等をしている。老朽化対策については、今後、計画的に対応していく。

質 施設周辺の交通安全対策について。

答 山王小学校から西部児童センターに通う児童については道路横断することから、引き続き施設職員が見守りを行うようにする。



▲鶴ヶ谷児童館

多賀城市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等について
（こども誰でも通園制度）

質 制度概要は。

答 保育所や認定こども園等に通っていない0歳6か月から満3歳未満の子どもが、所定の保育所や認定こども園等へ月10時間を上限とし通園できるもの。

質 本制度の運用スケジュールは。

答 施設側の受け入れ体制によるが、順調にいけば令和8年4月から利用可能となる。3月中に利用申請の受付を開始したいと考えている。

質 一時預かりとの違いは。

答 似ている制度であるが、一時預かりは保護者の事情により子どもを預かる保護者支援であるのに対し、本制度は子どもの育ちに焦点をあてた制度である。

質 一時預かりは継続するのか。

答 一時預かりも継続して実施していく。

令和7年度補正予算

生活交通ネットワーク維持事業

質 ポケットサインミニアプリ（マイナンバーカードを活用した県のデジタル身分証アプリ内に搭載されたアプリ）を使ったデジタルタイプの乗車証は、システム開発費に550万円。今後、デバイス借り上げ料とアプリ利用料の合計138万7千円が毎年かかることになるのか。

答 そのようになる。

質 65歳以上の乗車証のデジタルタイプは無料であり、カードタイプは500円の実費負担がある。この取り組みを考え直せないか。

答 デジタルの利用促進部分であるデジタルタイプにあたっては市の一般財源を導入し、カードタイプにあたっては負担をいただくものとした。徐々にデジタルタイプにシフトしていくものと考えている。

質 デジタルタイプ乗車証の取り組みだけでなく、このアプリを活用して市の方向性を市民に周知していくべきではないか。

答 市としてこのアプリを様々な場面で活用していきたい。

質 バスからスムーズに降りられないということが起きないよう、利用者への周知や説明をお願いしたい。

答 社会実験段階から利用者に可能な限り寄り添ってきた。今後も利用者の立場に立ち応援していきたい。

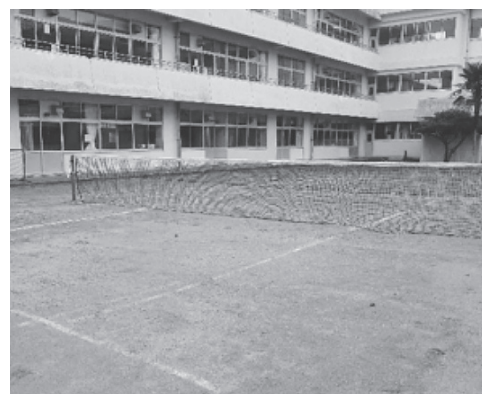


▲多賀城コミュニティバス

学校環境整備事業 (テニスコート整備)

質 工事内容について。

答 高崎中学校は、校庭全体が遊水地になっており、特にテニスコート側の地盤がかなり低い状況にある。そのため、土を盛って、水が引きやすい状況に勾配を取ってラ



▲多賀城中学校テニスコート



▲高崎中学校テニスコート

インを引き直す措置をする。多賀城中学校は、勾配をつけるために土を入れて、ラインテープを引く措置をする。第二中学校は、土壌を整備し、ラインテープを引く措置をする。

質 工事期間については。

答 令和7年度内に工事を完了させる予定。



▲第二中学校テニスコート

婚姻届等記念撮影用パネル作成業務

質 作成、設置の予定は。

答 令和8年度エントランス棟の開庁に合わせてパネルを設置する予定である。

質 パネルのデザインや仕様についてのイメージ構成は。

答 多賀城らしいデザインを考えている。仕様としては、エントランス棟は様々なイベント開催が想定されるので、固定式ではなく、移動式のものと考えている。また、別の場所でも多樣的に使用可能とするものを想定している。



▲山形市の婚姻記念撮影パネル
(イメージ写真)

物価高騰対策事業

質 全市民への現金5,500円の給付スケジュールはどのようになっているか。

答 令和8年3月から振込開始を目指している。

質 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して「みやぎポイント」3,000円分給付を選択した理由は。

答 スピーディーに交付でき、交付に係るコストを抑えることができる。また、市内の加盟店を増やすことで、地域経済の活性化にもつながる。

質 ポイント発行期間と使用期限については。

答 ポイント発行は令和8年2月から4月末の予定、使用期限は10月末までを想定している。

質 市内「みやぎポイント」取扱加盟店を増やす取り組みについて。

答 多賀城・七ヶ浜商工会とも連携し、取扱店舗増加を目指している。

質 現金給付によって誰もが確実に支援を受けられる公平性が確保されており、ポイント給付は追加の支援として、デジタル施策への参加を後押しする役割を果たし、デジタル行政の基盤整備と将来の行政効率化に資する。

賛成討論

自由民主党多賀城市議団
大場 和晃 議員

反対討論

日本共産党多賀城市議団
峪 道子 議員

- みやぎポイント給付は、市民生活の実効性と公平性の点から課題が多く賛成できない。
- ① 使途や利用先が限定されている。
- ② 低所得世帯等への重点的な支援が不十分。
- ③ 事務経費が伴う。
- ④ マイナンバーカードを持たない人は対象外。

議会だより第133号
記事の訂正について

4ページ

「多賀城創建1300年から未来へ向けた令和6年度決算を認定」の令和7年度に実施された主な事業と記載がありますが、正しくは次のとおりです。

(正) 令和6年度に実施された主な事業

(誤) 令和7年度に実施された主な事業

14ページ

ピックアップ議論「行政コスト計算に基づく受益者負担の適正化に伴う関係条例の整備に関する条例について」の下段「手数料を改定する証明等一覧」内に記載ある戸籍の謄本、抄本、戸籍証明書交付手数料金額に誤りがありました。正しくは次のとおりです。

(正) コンビニ交付手数料は

450円から350円に減額

(誤) コンビニ交付手数料は

450円から300円に減額

お詫びして訂正いたします。

<物価高騰対策事業一覧>

No	事業名	事業概要	予算額
1	物価高騰対策給付金給付事業	市民全員を対象に1人5,500円の給付金を支給	4億1,662万8千円
2	物価高騰対策生活応援ポイント支給事業	市民を対象に1人3千円分の生活応援ポイント(みやぎポイント)を支給	1億3,540万4千円
3	物価高対応子育て応援手当支給事業	子育て世帯を対象に子ども1人あたり2万円を支給	2億1,116万1千円
合 計			7億6,319万3千円

調査報告



文教厚生常任委員会

委員長 幸博子
副委員長 弓晃一郎
委員 正雅道、真和、長一、津男、已昭、部藤、藤場、木浦、谷、阿佐、峪伊、大森、鈴昌、竹

令和7年11月5～7日

視察日程

視察調査先

○兵庫県高砂市
○岡山県岡山市
○岡山県総社市

文教厚生常任委員会

3日間の行程で兵庫県高砂市、岡山県岡山市、総社市の3市で視察調査を行ってまいりました。

1 高砂市…たかさごチームオレンジ、認知症高齢者等賠償責任制度について

地域包括支援センターと連携した「たかさごチームオレンジ」が行う、認知症の方や家族向けの支援や活動事例の説明を受けました。併せて見守りネットワーク登録者などを対象とする認知症高齢者等賠償責任制度を紹介いただきました。認知症の方やその家族に合った具体的な支援や、課題解決に向けて継続的に取り組んでいくことが大切であると感じました。



▲高砂市議場

2 岡山市…岡山市立山南学園（小中一貫義務教育学校）の取り組みについて

岡山市は保護者や地域との協力により小学校4校と中学校1校を再編し、令和4年に義務教育学校「山南学園」を開校しました。9年間で育成する子ども像として、国際性、人間性、行動力を掲げ新しい教育モデルを構築する素晴らしい取り組みでしたが、取り組みにあたり苦労が多く大変だったという説明もあり、地域との連携が重要であることを学びました。



▲岡山市議場

3 総社市…ひきこもり支援事業について

総社市はひきこもり支援を地域福祉の課題として位置づけ、検討委員会を設置後、支援センター「ワンタチ」を開設。居場所づくりやサポーター養成講座、ケース検討会や夜間居場所など多様な支援について説明を受けました。特に先進事例である対面困難な当事者に安心感と交流機会を提供するメタバースを活用した仮想居場所は、不登校が多い本市でも今後必要な取り組みであると感じました。

（委員長 阿部 正幸）



▲総社市議場

行政視察



総務産業常任委員会

● 視察調査先

○大阪府羽曳野市

○大阪府門真市

○大阪府堺市さかい

● 視察日程

令和7年11月12
～
14日

総務産業常任委員会

子行純太圭昭栄一子	裕定裕文朝恵末	藤田田内間葉本橋澤	齋中池大本千根板米	委員長委員長委員長委員長委員長	委員長委員長委員長委員長委員長
-----------	---------	-----------	-----------	-----------------	-----------------



▲羽曳野市議場

一昨年、多賀城創建1300年を迎え、文化観光都市を目指す方向性が示されました。令和8年度から教育部局の文化財課を本委員会所管の市長部局として始動されることから、歴史的文化財の保護と継承の観点からの視察と致しました。また、現在構想中のスポーツウェルネス施設整備事業に伴う体育施設の取り組みの参考となる先進自治体の現地視察を行ってまいりました。

1 羽曳野市…古墳を活かした観光振興について

羽曳野市は、世界文化遺産に登録された「ちづ百舌鳥・ふるいち古市古墳群」の一部を有する歴史的な都市であり古墳を核とした観光振興に取り組んでいます。



▲門真市立総合体育館

古墳を活用した地域活性化の具体的な施策や、観光資源としての古墳群の保存・活用の取り組みについて学びました。

2 門真市立総合体育館の運営について

「誰もが身近に利用しやすい生涯スポーツ推進拠点」として整備され、スポーツだけでなく地域交流や防災機能も兼ね備えた施設。子どものためのスペースが充実しており、全世代の利用促進策など参考としたいと思います。



▲大浜だいしんアリーナ

3 堺市・大浜だいしんアリーナの運営について

PF1方式により整備し、指定管理による運営を行い、地域のにぎわい創出と多世代が利用できるスポーツ拠点として高い評価を得ています。施設設計の段階から、指定管理者と運営手法、地域連携、利用促進について協議を行っていました。本市の参考になる取り組みと感じました。

(委員長 齋藤 裕子)

今月の表紙

市内小学校児童会の皆さんをシリーズで紹介します。

今回御紹介するのは、多賀城八幡小学校「まつば児童会」の皆さんです。

皆さんに、「児童会の活動」、「八幡小学校の自慢」や「多賀城市の魅力」そして「多賀城市への想い」など、インタビューしました。

★児童会の主な活動

- あいさつ運動「挨拶ゲームカード（マスゲームに書かれているミッションに挑戦する）を作成して全校児童に配布し、楽しく取り組みを進めている」
- 1年生を迎える会、6年生を送る会運営（1年生を迎える会は学校のルールを劇やクイズなどで伝えた）
- 児童会スローガン、児童会だより作成

★八幡小学校をこんな学校にしたいという想いについて

- たまらなく楽しい学校にしたい！もっと笑顔！
- 今年のスローガンの「いつでも笑顔で協力し合える八幡っ子」にしたい！
- 好き嫌いを無くす、給食を残さない（給食の残食を無くしたい）

★八幡小学校の「ここが自慢」

- あいさつ、元気に遊ぶ、校庭が広い、つき山がある、
トイレがきれい（トイレ掃除が好き）
学校図書館（広くてたくさんの本とテーブルと椅子がある）

★多賀城市のここが好き！

- 多賀城駅、市立図書館、南門、歴史、古代米、田んぼ、風景、公園が多い、お店がたくさんある

★多賀城市が「もっと○○なまちになってほしい」

- にぎやかなまち、観光客がたくさん来るまち、希望あふれるまち
- お店が（駄菓子屋さん、グルメ）増えるといい。大きい祭り
- 大人もルールを守るまち（塀や壁などへの落書き、信号無視など交通ルールを守らない、歩きたばこポイ捨て） ※子どもは見ていますね。



皆さんからたくさんのお話を聞かせていただきました。次から次へと手が上がり、メモを取るのも忘れるくらい、元気で明るい皆さんとの楽しい時間でした。スローガンのとおり、仲が良くて「笑顔」がとても素敵なまつば児童会の皆さんでした。先生方をはじめ、児童の皆さんにご協力をいただき、大変にありがとうございました。（レポーター 齋藤 裕子）



広報特別委員会

委員長	佐藤 雅博
副委員長	齋藤 裕子
委員	伊藤 真弓
委員	池田 純
委員	大内 裕太
委員	大場 和晃

大事な定例会の内容をこの一冊に！読んでもらえる！読みやすい！伝わる議会だよりを目指して、委員会メンバー一丸となって作成しました！ぜひもう一度表紙からご覧ください。（大内 裕太）

さて、令和7年第4回定例会が閉会しました。物価高騰対策事業に係る補正予算や令和8年度に向けた条例改正・補正予算など31件の議案審議が行われました。他定例会と比較するとボリュームは多くないですが、翌年度年間を通じて行われる事業や複数年に渡る事業に係る審議をはじめ議案は多岐に渡り大事な定例会です。

編集後記をしたためている12月の下旬、最高気温を前日と比較するとマイナス13℃。ここ最近では雪が降ったり、暖かくなったり、冷え込んだり…体調管理が難しいですが、皆さんの体調管理の秘訣はなんでしょうか。

編集後記

